なりたい自分になる。そして…

Suma Press

SUMA GAKUEN 2021

SUMA GAKUEN

Topics

P02　理事長、学園長あいさつ
P03　高等学校校長、教頭あいさつ
P04–11　合格体験記：東京大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・北海道大学・徳島大学
　　はなむけのことば
P12　2021 年度 大学合格実績

2021年春、サクラ 満開

Suma Press　SUMA GAKUEN 2021
2021年5月15日発行　発行／学校法人須磨学園
〒654-0009 神戸市須磨区鉢酒町3-15-14　TEL・078-732-1968　FAX・078-732-6129
030515300

2021年度 大学合格実績

医学部医学科 **35**名　歯学部歯学科 **9**名　薬学部薬(医療薬)学科 **130**名
国公立(大学校含む) **296**名　早慶など関東主要私大 **117**名　関関同立 **482**名　私立 **1248**名

現役・既卒生を合わせた延べ人数です。( ) は既卒生　2021年4月23日現在

医・歯・薬・獣医

医学部医学科

■ 国公立大学

京都大学	2
神戸大学	4
北海道大学	1
秋田大学	1
福井大学	1
岐阜大学	1
滋賀医科大学	1（1）
鳥取大学	1
島根大学	1（1）
徳島大学	2（1）
香川大学	1
高知大学	1
宮崎大学	1

■ 大学校　医学部医学科

防衛医科大学校	4（1）

■ 私立大学

慶應義塾大学	1
東北医科薬科大学	1（1）
国際医療福祉大学	1
東京女子医科大学	1（1）
大阪医科薬科大学	2
関西医科大学	1
兵庫医科大学	4
久留米大学	2（2）

歯学部歯学科

■ 私立大学

北海道医療大学	7
昭和大学	1
大阪歯科大学	1

薬学部薬(医療薬)学科

■ 国公立大学

京都大学	1
岐阜薬科大学	1
和歌山県立医科大学	1

■ 私立大学

慶應義塾大学	2
京都薬科大学	7（2）
立命館大学	7（4）
大阪医科薬科大学	16（1）
近畿大学	2（1）
神戸薬科大学	20（2）
神戸学院大学	8（4）
兵庫医療大学	62（1）
武庫川女子大学	1（1）
千葉科学大学	2

獣医学部獣医学科

■ 国公立大学

鹿児島大学	1（1）

■ 私立大学

日本獣医生命科学大学	1

国公立大学

東京大学	7（1）
京都大学	25（2）
大阪大学	34（4）
神戸大学	29（5）
北海道大学	7
名古屋大学	1
九州大学	5
一橋大学	1
滋賀大学	2（1）
滋賀医科大学	1（1）
京都教育大学	1
大阪教育大学	1
奈良女子大学	1
滋賀県立大学	2
京都市立芸術大学	1
京都府立大学	2
京都府立医科大学	1
大阪市立大学	6（3）
大阪府立大学	10（3）
兵庫県立大学	31（4）
神戸市看護大学	4
奈良県立大学	1
和歌山県立医科大学	1
北見工業大学	3（1）
北海道教育大学	1
室蘭工業大学	1
秋田大学	1
山形大学	1
茨城大学	1
筑波大学	1
群馬大学	2（1）
埼玉大学	1
千葉大学	2
電気通信大学	2
東京藝術大学	1
東京農工大学	1
横浜国立大学	3
福井大学	1
信州大学	2（2）
岐阜大学	2
三重大学	1
鳥取大学	9（1）
島根大学	4（2）
岡山大学	8（2）
山口大学	1
徳島大学	9（2）
香川大学	4
愛媛大学	2
高知大学	2
九州工業大学	2（2）
佐賀大学	1
長崎大学	1
宮崎大学	1
鹿児島大学	2（1）
鹿屋体育大学	1
琉球大学	1
釧路公立大学	2
秋田県立大学	1
岐阜薬科大学	1
公立鳥取環境大学	2
岡山県立大学	1
長崎県立大学	2（1）
防衛医科大学校	14（1）
防衛大学校	24（1）

私立大学

早稲田大学	29（5）
慶應義塾大学	22（2）
上智大学	8（1）
東京理科大学	17（3）
学習院大学	2（1）
明治大学	15（3）
青山学院大学	4（2）
立教大学	3（1）
中央大学	9（6）
法政大学	8
北海道医療大学	9
東北医科薬科大学	1（1）
国際医療福祉大学	1
東京国際大学	2
日本薬科大学	6
千葉科学大学	2
北里大学	2
杏林大学	1
工学院大学	6（1）
芝浦工業大学	7
昭和大学	1
津田塾大学	1
東海大学	4
東京女子医科大学	1（1）
東京女子体育大学	1
東京農業大学	1
東洋大学	4（1）
日本大学	2
日本獣医生命科学大学	1
日本体育大学	3
神奈川大学	1
昭和音楽大学	1
朝日大学	1
愛知学院大学	3（3）
愛知大学	1（1）
中京大学	1
岡山理科大学	4（1）
倉敷芸術科学大学	2
四国大学	1
久留米大学	2（2）
立命館アジア太平洋大学	1
関西大学	69(15)
関西学院大学	172(22)
同志社大学	117(17)
立命館大学	124(26)
京都産業大学	23（3）
近畿大学	186(47)
甲南大学	39（7）
龍谷大学	13（1）
京都外国語大学	1
京都女子大学	3（1）
京都精華大学	1（1）
京都芸術大学	2
京都薬科大学	7（2）
同志社女子大学	8（1）
嵯峨美術大学	1（1）
追手門学院大学	2
大阪医科薬科大学	25（1）
大阪音楽大学	1（1）
大阪経済大学	2
大阪経済法科大学	2（2）
大阪芸術大学	3
大阪工業大学	29（7）
大阪国際大学	1
大阪産業大学	27
大阪歯科大学	1
大阪体育大学	2
大阪電気通信大学	1
関西医科大学	2
関西医療大学	1
関西外国語大学	3
摂南大学	9（2）
太成学院大学	1
関西看護医療大学	1
関西福祉大学	1
甲南女子大学	12
神戸学院大学	23(10)
神戸芸術工科大学	2（1）
神戸女学院大学	8
神戸女子大学	8（6）
神戸松蔭女子学院大学	5
神戸親和女子大学	8
神戸常盤大学	4
神戸薬科大学	20（2）
園田学園女子大学	1
姫路大学	1
兵庫大学	1
兵庫医科大学	4
兵庫医療大学	71（1）
武庫川女子大学	9（3）

海外の大学

University College London	1
Northwestern University	1

学校説明会・見学会等の
須磨学園最新情報は
ホームページを
ご覧ください！

https://www.suma.ac.jp/

学校説明会・見学会のご案内

中学校

いずれもお申し込みが必要です。詳しくはホームページまたはお電話にてお問い合わせください。

オンラインオープンスクール
- 時間…10:00～12:10

8/ 7 (土)　受付開始日時 7/12(月) 10:00～

学校説明会・見学会
- 時間　午前の部 6年生対象 10:00～12:00
　　午後の部 全学年対象 14:00～16:00
- 場所…本校・Zoom ライブ配信

9/11 (土)　Web申込開始日時: 8/2(月) 10:00～
10/16 (土)　Web申込開始日時: 9/13(月) 10:00～

入試説明会・見学会
- 時間　6年生対象 10:00～12:00
- 場所…本校・Zoom ライブ配信

11/20 (土)　Web申込開始日時: 10/18(月) 10:00～
11/27 (土)　Web申込開始日時: 10/25(月) 10:00～

高等学校

詳しくはホームページをご覧ください。

学校入試説明会・見学会
- 場所…本校・Zoom ライブ配信
- 時間…第1回 10:00～・第2回 13:30～(要申込)

10/30 (土)・10/31 (日)・11/6 (土)
11/7 (日)・11/14 (日)・12/4 (土)

※上履きと靴袋を必ずご持参ください。
※自家用車でのご来校はご遠慮ください。

祝！大願成就！　合格おめでとう！

理事長

西　泰子

中高一貫12期生、共学20期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この3年間（6年間）を振り返ってみると色々なことがありました。とくに最後の1年は新型コロナウイルス感染拡大のため、学校生活は大きく変わりました。

コロナ禍の中、それでも皆さんは受験に向けひたむきに努力を積み重ねられました。誰もが初めて経験するオンラインでの授業になり、普段にも増し受験の準備は大変だったと想像します。学校に来られずに自宅で勉強していた時間はさぞかし孤独な時間だったと思います。

しかし、この時間はまたとない「学びの機会」でもありました。先生たちは何が正解なのか分からない中、「皆さんにとっていい」と思われることを試行錯誤しつつも一所懸命やりました。皆さんも先生たちを信じ、学びを止めることなく続けられました。

クラスメイトや先生たちと直接関わることができない時間に学んだことは知識だけではなかったと思います。自分の頭で考えて答えをだしていくこと。人との関わりの中で私たちは生活していること。困難を共有しともに乗り越えていくこと。様々なかたちの学びがありました。皆さんにもたらされた大学入試の結果はそれぞれだったかもしれませんが、皆さんがこの間に経験された『学び』は確実に将来に続く学びだと思います。

これから先、社会のあり方は以前とは変わっていくかもしれませんが、これからも学びを止めることなく、「なりたい自分」を実現するために努力を積み重ねていっていただきたく思います。皆さんの引き続きのご健闘とご活躍を応援しています。

学園長

西　和彦

大学合格おめでとうございます。

平均競争率数倍という難関を通り抜けて、勝利した諸君らに言いたいことは、これからも競争社会という世の中の非情を勝ち抜いていってほしいということです。大学入学で数倍、大学院修士で数倍、大学院博士で数倍、そのあと、たとえば大学では、大学講師で数倍、大学教授で数倍、例えば会社でも課長に数倍、部長に数倍、役員に数倍、社長に数倍などと合計数百倍の狭き門が当たり前がこの社会です。それを恨んでみても仕方がありません。人を切り落としてゆくことが、長い間に確立されたこの社会の選抜システムなのです。

須磨学園はそういうシステムを否定するものではありませんが、それよりも自己実現とその満足が最も大切であるという信念に基づき、諸君らが自分の専門を世界レベルにまで高めて、それで社会に貢献してゆかれることを願っています。

自分が上のポジションに進むことができる人は限られた人です。合格によってその一歩を進み始めたそういう人は、自分のことだけでなく、周りの人に親切を分けてあげてほしいと思います。それが上に行く選ばれた人の果たさなければならない周りへの責任ではないでしょうか。

私は自分のこの65年の人生を振り返ってみたときに、新しいチャンスは自分で掴んできたのではなく、いつも自分のことを評価してくださった上司や先輩が自分を引き上げてくださったことを忘れることはできません。ぜひ君たちも在学中に学んだ「ｘｙｚＴ：心を大きく、温かく」するための考えと、その心で周りの人に対応してゆく実践を強く期待します。

高等学校 校長

堀井雅幸

中高一貫12期生、共学20期生は、須磨学園での日々を全力で駆け抜けました。2020年度は当初より、新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発出されるなど、前代未聞の状況が続きました。中高6年間、高校3年間の集大成であり、大学受験にパートとなる大切な高校3年生としての時間は、様々な制約の中で歩みを進めなければならない事態となったのです。しかし彼らは、須磨学園のいかなる時も「学びを止めない」というスローガンのもと、将来のなりたい自分を目指して、懸命に前を向いて進んできました。新制度初年となる大学受験に向けても、オンライン授業、9時までの自学、放課後や長期休暇における大学別の特別講座、日曜自学、そして盆や正月における特別企画など、あらゆる機会を活かして学びました。通う者すべてに英気を与える〝パワースポット〟須磨学園の粋をいかんなく活かして、一人ひとりが素晴らしい〝to be myself…〟を描いてきたのです。

苦難の門出となった2020年度は我々教職員にとっても非常に難しい時間ではありましたが、彼らが溢れる期待に存分に応え、決して苦境にくじけることなく大いなる志を胸に巣立っていく姿を見せてくれたこと、そして我々の胸に果てしなく大きな希望をのこしてくれたことは、私たち教職員や後に続く後輩の皆さんにとってもかけがえのない道しるべであると確信しています。

教　頭

吉村　祐介

中高一貫12期生、共学20期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新年度が始まる前から流行した新型コロナ感染症の影響で、新年度は対面ではなくオンラインでの授業で幕開けとなりました。本来なら3月の春休み期間中も学校に来て勉強し、講座に出て、学校で勉強をしたかったと思います。学年団の先生方も君たちを学校で引っ張りたいところでした。学校に来られないのなら、家でのＰＣに向かっての授業、家で受ける模試、Ｚｏｏｍで繋ぎながらの9時学等、休校期間中でも「学びを止めない」を合言葉に先生方は様々な取り組みをしてくれました。

時が経ちやっと登校ができるようになったものの、新型コロナ感染症の脅威は依然残ったままでした。それを見越した学年団の先生方は工夫を凝らして、今までにない講座数を確保し、かつ、感染症対策に取り組んでいました。また、君たちも先生方の思いに応えるべく一生懸命頑張っていました。

史上稀に見る困難の中、教員生徒ともに一人一人が工夫をしながら過ごしたこの1年間は今後の人生においても大きな意味を持つでしょう。今後の人生においてもし壁にぶつかったとしても問題はありません。勇気を持って前に進んでいってください。

教　頭

山本　理貴

２０２０年度大学入試で見事に合格を勝ち取った皆さん、おめでとうございます。高校2年3学期を高校3年０学期として過ごし、その勢いのままに大学新入試に向けて突き進むはずが、高校3年になる直前の3月からコロナウイルス感染防止対策のために登校することができなくなり、受験に向けての本格的なスタートダッシュが切れない状況に陥りかけました。それに対して須磨学園は「学校を止めない」「学びを止めない」の大方針のもとオンライン授業に着手し、制携帯や制ＰＣを活用することで皆さんとともに走り出すことができました。朝のホームルームから制服に着替えて、画面の向こうから真剣な眼差しを送ってくる皆さんを見て、教員も「これならやれる」と確信しました。その後はオンライン授業の質を試行錯誤しながら徐々に向上させ、平素に限りなく近い水準の授業や特別講座を行うことができました。また、オンライン授業を実践するに当たり、保護者の皆様が自宅の通信環境を整えていただいた結果、生徒全員がオンライン授業を受けることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。生徒と家庭、そして須磨学園が三位一体となって突き進み、生徒の皆さんが須磨学園をフル活用したことが第一志望合格に結びついたと確信しています。今後も学びを止めずに成長し、社会に貢献できる人物になってください。これからの活躍を期待しています。

合格するにはわけがある
17人の 受かった！レポート

東京大学
理科Ⅱ類

井爪 優輔

基礎を整えるということ

丁寧な指導で導いてくださった先生方のご尽力には感謝の気持ちがやみません。本当にありがとうございました。

私は、最終的に東京大学に合格することができましたが、受験を振り返ってみると、基礎の大切さを改めて感じます。私は、あまり熱心に勉強をする性格ではなく、暗記が大変苦手で、基礎知識があまり固まっていませんでした。そのため、以前より苦手だった英語や比較的得意だと思っていた化学などで、なかなか点数が取れないという状況でした。受験全体を通して、基礎を重点的に勉強していましたが、応用力は問題に触れて授業を聞いていたら自然とついたので基礎さえちゃんとすれば平均的なレベルにまでは到達できるという印象でした。

受験をするにおいて英語が私の一番の課題となっていました。自分の勉強としては、基礎や課題をこなしていましたが、先生からの提案で、過去問を解いて先生に見てもらうという交換日記をすることになりました。やっていくうちに、問題の時間感覚や自分の間違いの癖がわかってきたので大変力になったと思います。私は英作文を特に苦手としていたのですが、創作でどうでもいいことを論理の飛躍なしに書けるようになると、ある程度は楽になりました。

苦手科目の話をしてきましたが、受験で勝敗を決めるのはやはり、得意科目でどれだけ追加で得点できるかにかかっていると思います。私は物理と数学が得意だったので、苦手科目で失敗しても得意科目で取り返せばいいと思うとある程度気が楽でした。基礎を固めることで一番得点が伸びたのは英語でしたが、基礎の重要性を感じさせられたのは得意科目においてでした。数学はたまに特殊な発想を求められることもありますが、多くの場合一見複雑に見える問題も解いてみれば基本的な事項の組み合わせでしかないことがよく感じられました。

最後に、合格には、挑戦することが大事だったと思います。志を高く持てば周囲の優秀な仲間からいい影響をもらえるし、頑張るモチベーションにもなります。皆さんも、目標を持つことは自由なので、自分の思うよりひとつ上を目指してみてください。

東京大学
文科Ⅱ類

舩澤帆津美

自信を持って前向きに

まずはじめに、こうして合格体験記を書かせていただけることを光栄に思うとともに、これまでたくさんの指導をしてくださった先生方をはじめ、私を支えてくださった全ての方に感謝をしたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、私が自身の経験の中で感じたことが、三つあります。

まず一つ目に、授業を大切にする、ということです。これは中学1年生から高校3年生の全ての方に言えることですが、先生の目を見て話を聞き、一つ一つ理解することが、全ての勉強の基礎になると思います。話を聞かなくても、教科書やノートを見れば分かると思うかもしれません。しかし、先生から伝えられたことは、気付かないうちに、一人で勉強したことよりも深く記憶されているものです。特に、須磨学園の先生方は、入試に直結するエッセンスを詰め込んで授業をしてくださるので、それを活用しない手はありません。今日の授業で、先生がさりげなくおっしゃったその一言が、いつか必ずあなたを助けてくれることでしょう。

次に、二つ目は、前向きでいる、ということです。私は、高校3年生の1年間、いつも前向きであることを先生方から褒めていただきました。「それしか褒めるところがないのか？」と少し不安を感じるほどでしたが、今になって考えてみると、常にポジティブでいたことが、成功のカギの一つだったのではないかと思います。先生方はよく、模試の結果に一喜一憂するなとおっしゃいますが、私は、一喜一憂するなとおっしゃいます。結果が良ければ、成長が目に見える形になって表れたことを喜び、悪ければ、伸びしろがたくさんあることを喜ぶのです。ただし、ここで重要なのは、「ひと」しきり喜んだ後、さらに成長するための戦略を考え、次へと繋げていくことです。そうすることで初めて、前向きでいることが、強力な武器になると思います。

そして三つ目は、信じることです。何を信じるのか。まず、先生方を信じてください。須磨学園の先生方は、前述したように、濃い授業をしてくださるだけでなく、私たち一人一人の弱点や性格を把握した上で、最も効果的な指導をしてくださいます。先生方は、どんな参考書よりも心強い味方になってくださるはずです。次に、友達を信じてください。私自身、「あの子が頑張っているから、自分も頑張ろう」と思い、何度も自分を奮い立たせました。誰よりも長い時間を共にした友達は、あなたが一人で闘うときにも、きっと勇気をくれるでしょう。そして、自分と、自分のやってきたことを信じてください。勉強を続けていても、あまり成長を実感できないこともあると思います。しかし、努力を重ねた分だけ、それは確実に力になっています。なので、最後まで自分を信じて闘い抜いてください。結果は自ずとついてくるはずです。

最後になりましたが、これから夢に向かって進んで行く皆さんの闘いが、より実り多く、明るいものとなりますよう、応援しています。

東京大学
理科Ⅱ類

建部 幹太

自特

初めに、私の受験生活に携わってくださった先生方、講師の先生方、両親、友人、その他全ての皆様に深く御礼申し上げます。

私が東大を目指し始めたのは中3のころでした。深く探究するよりも様々なことに幅広く通じている人でありたいという信条が、東大の教養教育を重視する姿勢と一致し、ここしかないと固く決心することになりました。ただ、高2からでは間に合わないと思い、中学からやっていた部活をやめ、友達と遊ぶのもほとんど断ち、高1から受験勉強を始めました。

高1のときには、勉強することに慣れることを意識し、受験勉強のみならず、大学の研究体験に参加するなど、学問に触れること自体を楽しんでいました。今思うと、高1から受験勉強を始めるのは少し時期尚早だったなと感じています。あまりにもできることが少なかったからです。

高2になり、学年団の刷新、新入試という壁に直面したので、思考力を鍛えることを最も意識していました。同じ問題に何時間も頭を悩ませることもありました。このおかげで、二次力は格段に上げられたように思います。また、東大を志す仲間が増えたことも大きな転機でした。全員で東大に行きたいと思い奮起することができました。

高3では、新型コロナウイルスの蔓延によって、勉強環境の質が予想よりもはるかに悪化しました。特に、周りと比べる機会が少なくなり、自分の立ち位置や方向性がはっきり見えず、暗中模索の日々でした。とにかく余裕合格レベルに達するという目標を貫き取り組んできました。また、この時期よく読書をしていた結果、哲学する（根源的に思考する）力が養われたことにより、問題や自分の考え方を深く分析することができるようになっていました。

早くから覚悟を決められたこと、潜在的に刺激を与えてくる仲間の存在があったこと、哲学する力を得たこと、これらは間違いなく私の東大合格のキーだと思います。とはいえ正直なことを言うと、いくら合格体験談を聞いたとしても、いざ自分が受験生の立場に立つと、まるで違う景色が見えてきます。思いもよらない不安や壁にぶつかります。そんなとき、自分の信条、自分の目標、自分の武器を見つめなおし、自らを鼓舞してください。さらに、最後まで自分を信じ続けてください。自分が納得いく結果は自分にしか出せません。皆さんの信じる未来の実現をお祈り申し上げます。

東京大学
理科Ⅱ類

山田 萌子

自分に合った勉強法を見つけて

はじめに、私が東京大学に合格することができたのは、ひとえに休み返上で朝早くから夜遅くまで講座や指導を行ってくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

私がこの合格体験記を書くにあたり、一番伝えたいことは自分に合った勉強法を見つけてほしいということです。例えば私の場合、学校で自習するよりも家のほうが学習環境を自分の良い様に整えられるので、基本的に家で自学をしていました。また、夜よりも朝のほうが頭が回るので、徹夜せず朝早く起きて勉強していました。自分で一番脳が働くと思う時間や落ち着く学習環境、自分が意欲的に取り組みたいと思う参考書など、全て人によって異なると思います。なので、賢い友達があしているから自分も同じ様にしなきゃと思う必要はなく、自分が正しいと信じる勉強法を貫くべきです。そこで何か壁にぶち当たれば、是非須磨学園の先生に相談してみましょう。

ここからは、私が東大合格に至るまでの軌跡を述べたいと思います。私は中学時代から、定期テストで良い成績が取れるよう日々の授業の復習を大切にし、苦手科目を作らないようにしていました。そしてV1（高2）の春頃、先生から東大目指したら？と勧められました。その時の私は行きたい学部が決まっておらず、2年間教養を学んだ後に学部学科を決められる東大に関心を持つようになりました。そしていつしか東大を第一志望にしていました。V2（高3）になる前、コロナウイルス蔓延により、学校に行って授業や講座を受けることができなくなりました。そんな中、オンライン上で同じ志望校の仲間と、今どんな勉強をしているかなどを共有することで、自然とチームとしての一体感が生まれ、絶対に皆で合格したいという強い気持ちが芽生えました。学校に登校できるようになってからは、ようやく対面で授業を受けられるという嬉しさから、より講座を大切にするようになりました。東大受験において最も重要なことは、確かな基礎学力の養成だと思います。基礎というのは単なる公式の暗記ではなく、その公式を正しく使えるかです。私は受験直前まで、赤本だけでなく自分が何度も解いた問題集の見直しをしていました。

最後に、私の合格体験記が少しでも皆さんのお役に立てば幸いです。己を信じ、須磨学園の先生を信じて、志望校合格をつかみ取って下さい。

teacher's report

教　頭
中高一貫12期生
学年部長

吉田泰明

「勝てば官軍」、言わせていただく！

111名の一貫12期生が挑戦した2021年度入試では、東大6（合格）／6（出願）をはじめ、難関53名を含む89名が国公立大学の合格を勝ち取った。東大、京大、阪大、国医において一貫の最高数を記録。外向けには立派な結果となった。

一方で、内向きには輝かしさとはほど遠く、泥臭い学年運営であった。V1（高2）から学年を担当させていただき、掲げた学年目標は、V1で「圧倒的学習量」、V2（高3）で「挑戦」である。このような目標を設定したのは、模試の成績がいま一つで、志望が高かった訳でもなかったからだ。具体的には、祝日は必ず登校、共通テスト模試は「月一」で受験。模試の成績が悪いと、ムキになって講座を追加した。良いことと言えば、学年教員の言葉、「言うていける」、「叶う」に象徴されるように、生徒と教員が心を一つにして入試に向かえたことぐらいであった。そして、世に言う受験期（高2の3学期）からは、コロナ禍での闘いを強いられた。「学びを止めない」と、オンライン授業を続けた須磨学園であったが、受験で勝ち切る一手とは程遠く、問題は山積みとなった。過去の成功が、対面での「手厚さ」であったことを再認識させられた。6月の登校再開からは対面を重視した。夏休みに相当する7月8月の取り組みは、11月まで5ヵ月間継続した。「日本一学習した受験生」への挑戦と旗揚げし、須磨学園の十八番、“授業＋講座＋個別指導＋9時学”を継続した。

ここからは、私の気持ちを述べたい。最後まで「合格」への不安こそあったが、やり残したことはないという気持ちは十分に感じていた。それがすべてだ。これから受験に向かう生徒の皆さん、指導される先生方に言いたい。「いっぱいやれ！」、やった先にしか結果は付いてこない。須磨学園で日本一の受験への「挑戦」を続けてゆきましょう。

最後に、念願叶わずの12期生へ。「挑戦」は勝つまでやるべし。「合格」の報告を心待ちにしています。

高等学校
共学 20 期生
学年部長

多田 鉄人

今号に掲載されている合格者の弁は、一握りの「難関大合格者」による感想や憶測の類ではなく、ここに載っていない全ての合格者に共通する普遍的法則です。

人間として成長する、９時学・講座などを利用する、授業はじめ学校を活用する、友人と一緒に問題を解く、ライバルを作る、自分が集中できる環境を見つける、勉強を楽しむ、目標を定める、PMTM を活用する、１冊の参考書を完璧にする、赤本に何周も取り組む、時間配分等戦略を練る、そして感謝する。地味で派手さのない、一見すると当たり前のこれらを実行できる人物こそ、本校における「勝ち組」です。

これに対して、残念ながら現役合格を勝ち取ることを出来なかった者はこう答えています。自己分析が足りなかった、苦手科目を疎かにした、何冊もの参考書を中途半端にしてしまった、周囲と交流しなかった、試験直前にやる気が落ちた、勉強法を身につけるのが遅かった、勉強量だけに満足して正しい勉強を積み重ねていなかった。

大学受験だけで人生の全てが決まるわけではもちろんありません。しかしこれを読む本校の受験を検討しているみなさんやその保護者の方などにとって、どのような人物が現役合格を手にしたのかは、とても価値のある情報であると思います。この Suma Press に掲載されている先輩方の合格体験記をお読み頂き、自らの合格を勝ち取るための具体的な手引きとして参考にして頂ければ幸いです。

teacher's report

6年間の感謝

京都大学
医学部 医学科

藤原 楓佳

私はこの場でぜひ伝えたいことが二つあります。

一つ目は周りに頼るということです。受験勉強ではとにかく時間が足りません。その中で効率的に勉強を進めるためには、まず、先生方に頼るのが一番だと思います。もちろん、自分でじっくりと考えることも大切ですが、勉強法がわからないときや添削してほしいとき、授業や問題集で分からないことがあったときには素直に先生方に頼りましょう。須磨学園の先生方はそれぞれの教科においてプロです。些細なことでも質問に行くと丁寧に答えて下さいます。私も苦手だった数学ではほぼ毎日質問に行っていた時期がありました。また、受験勉強でつらくなったときにも、友達や先生方に話してみるのがよいと思います。狭まっていた視野が開けて、再び頑張る気力が得られます。そのようにしているうちに自然と周囲の人々に感謝できるようにもなると思います。

二つ目は諦めないということです。普段の勉強でうまくいかなかったり、模試の判定が悪かったりすると、やっぱり自分には無理なんじゃないかと不安に思うことがあると思います。実際私も落ちこんでいるときの方が多かったです。冠模試の判定も一回だけBで、あとの三回は全てDでした。本番でも一教科目の国語で失敗して、不安でその日の夕食と次の日の朝食をあまり食べることができませんでした。当然頭が働くはずもなく、2日目のコンディションは最悪でした。それでも、諦めずに解けば何とかなりました。ただ、解いているときはかなりしんどかったので、前日と当日の朝にはしっかりとご飯を食べて下さい。受験が2日間にわたる方は、1日目が終わった後、無理に勉強せず、コンディションの調整に時間を充てるのも一手です。受験勉強では予定通りに物事を進めるのは難しく、特に本番では思いもよらないことが起きるものだと思います。ですが、諦めた時点で可能性は0なので、先生方や家族に諦めた方がよいと言われない限りは、合格に向けて行動し続けてほしいと思います。

最後になりましたが、今まで私を支えて下さった全ての方々、本当にありがとうございました。

向上心を大切に

京都大学
教育学部 教育科学科

瀧口 翔太

私がこのコロナ禍での受験で、合格を勝ち取る事が出来たのは今から述べる四つの事を意識していたからだと思います。

まず、志望を高く持ち続けていた事です。私は1,2年生の時は好きな科目しか真面目に取り組んでいませんでした。そのため、2年生の3学期に文転した後、3年生になってもE判定ばかりの振るわない成績でした。しかし、春の自粛期間のZoom授業をチャンスだと捉え、その期間に苦手な科目の基礎的な部分を重点的に学び、成績を伸ばして最後まで京都大学を志望し続けました。自分の実力より高い志望校を目指し続ける事は、今自分は何が出来ないのかを絶えず見つめる良い機会となり、良い取り組みに繋がったと思います。

次に、困ったら先生方に頼る事です。私は理系クラスに所属していたため共通テストの倫理政経、二次試験の地理を独学で学びました。しかし、独学にも限界があるので先生方にお願いをして演習問題を頂いたり、記述の添削を行って頂きました。やるべき事を自分で見極めた上で先生方を頼った事が大きく成長できた要因だと思います。

さらに、進路指導室を活用した事です。進路指導室には膨大な教材・資料が置かれています。大学の過去問だけでなく、冠模試の過去問なども多くあります。そのため、過去問を一通り解いてしまった直前期にも冠模試の過去問を利用する事で、時間を計り本番を想定した実践を積む事が出来ました。

最後に、友人達と楽しみながら工夫をして勉強を共にして高め合った事です。みんなで誘い合って９時学をしたり、元旦にはクラスの有志で本番形式でマーク模試を行う会を行ったり、と辛い受験勉強を精一杯楽しみ、高め合える仲間がいた事は本当に心強かったです。

受験は、誰もが手探りの状態で勉強し続ける事を強いられると思います。受験生の皆さんは不安な時こそ第一志望を諦めない強い意志を持ち、周囲の環境をうまく利用して是非合格を勝ち取って下さい！

合格を勝ち取るために

京都大学
農学部 応用生命科学科

宇治原千裕

この度合格体験記を書かせて頂くことを嬉しく思います。まず合格のためにこれまで私を支えて下さった先生方や家族、友達、本当にありがとうございました。自分の経験が少しでも後輩の役に立てるよう、私が受験を通して大切だと感じたことを三つお話しさせていただきます。

一つ目は学校や先生、友達をフル活用して勉強することです。私は一人で勉強するのが得意ではなかったので、高２の頃から９時学や休日自学にほぼ毎回参加して、勉強習慣を確立させていきました。高３からは帰宅した後も30分ほど友達とZoomを繋いで勉強しました。また、二次試験100日前からは友達と毎日LINEで日記を送りあってお互いにモチベーションを高めていきました。苦手意識があった数学については、たくさんの先生にサポートしていただきました。私は三日坊主になりやすく、無意識のうちに数学の勉強を後回しにしてしまっていたので、２、３日に一問のペースで先生に赤本の添削をお願いしたり、K学年の文系向けの毎日課題に参加したりすることで、コンスタントに数学に触れられるようにしました。大事なのは、自分から積極的に動いて周りの人に協力してもらうことです。冬頃には友達にノートを借りて高１、高２の時に取っていなかった最難関の講座の内容理解に力を入れました。これは私の失敗談でもあって、自分はできないからと言って苦手科目から逃げ続けていたのをとても後悔しました。たとえ苦手科目であっても自分のレベルより高めの講座を取って必死についていくことも大切だと思います。

二つ目は学校行事にも積極的に取り組むことです。なぜなら、自分の３年間ないし６年間の学校生活が思い出深いものになるだけでなく、学校行事から学んだことが受験勉強につながることも沢山あると思うからです。私は高２の時のマラソン大会が印象に残っています。自分は運動部にも所属していなくて走るのが得意ではなかったけれど、全力で取り組んだところ、完走した後に先生から根性があると言われて嬉しかったです。その言葉のお陰で受験時、自分は根性があるから大丈夫と言い聞かせて自信を持つことができました。

三つ目は学びを楽しむことです。それぞれの教科を受験に必要な科目というより一つの学問として向き合うことを大切にしていました。生物の個別指導を受けていた時、入試問題を通して様々な実験手法を知ることで現代生物学への興味が湧きました。苦手な数学にも楽しみを見つけるようにしていました。自分の考えを記述し、答案を見る人に伝えることがとても楽しくて、時には２時間ほど考え込んで答えを出したこともありました。そのお陰で答案作成能力を格段に向上させることもできました。

最後に後輩の皆さんへ、これからの入試の形態はどのようになっていくか予測しづらく、不安を感じる人も多いと思いますが、先生を信頼し友達と切磋琢磨して是非志望校合格をつかみ取ってください。応援しています。

得意を伸ばす

京都大学
工学部 地球工学科

盛田　悠

まず初めに、３年間の須磨学園生活を支えてくださったすべての方々に感謝申し上げたいと思います。

私はこの度、京都大学工学部に合格しましたが、高校入学当初から京都大学を目指せる成績であったわけではありませんでした。ここでは、私がどのように合格を勝ち取ったかを書いていこうと思います。１年生の時の志望大学は大阪大学でしたが、自分の成績を見て、阪大合格なんて夢のまた夢だと思いました。転機となったのは、３学期にある１年生最後の定期テストでした。担任の先生に、このままの成績では８組にいられなくなると言われ、定期テスト１週間前から計画を立て勉強しました。今思うと、ここから勉強の習慣が徐々についてきたのだと思います。２年生では、自習時間のほとんどを数学に費やしました。数学を勉強し始めた時は、なかなか結果が出なかったけれど、毎日数学を楽しむことによりどんどん結果が出てきました。たしかこれくらいの時期に志望校を京都大学に変更した気がします。難関大学を受けるのであれば、自分の得意科目をどんどん伸ばしていくことが大事だと思います。３年生では、11月までは数学を重点的にこなしながらも、二次試験に使う物理、英語も疎かにならないように計画を立てて勉強しました。12月からは、京大工学部受験者の宿敵である地理の勉強を本気で始めました。地理は、センターの過去問や問題集をやりこみ、自分の知らない知識をまとめたノートを作って勉強しました。11月まで模試では50点台、良くても60点前半でしたが、無事、本番では８割を越えることができました。京大は（おそらく東大も）二次試験の配点が高く、共通テストでは決まらないと思われがちで、実際他の大学に比べたら二次試験での逆転も起こりやすいとは思いますが、過去のデータを見てみると、共通テストの得点とその得点ごとの合格者には相関関係があるのがわかるので、共通テストの点もあるに越したことはないと思います。共通テストが終わって二次試験までの１カ月は化学を重点的に勉強しました。共通テスト後に受ける、本番前の京大模試で化学が30点台だったので、だいぶ焦りました。この１カ月間は、化学に関しては講座に行くのをやめて赤本をやりこみました。時間を計って、１日10題ぐらいやりました。そのおかげで、本番では６割ぐらい取ることができました。

結局、成績が上がるかどうかは自分次第だと思います。モチベーションが無いときは自分が受験で失敗している姿を思い浮かべてみてください。多分やる気が出ると思います。私が好きな言葉に、『賭博破戒録カイジ』にでてくる大槻太郎（またの名を班長）の、「今日頑張ったもの、今日頑張り始めたもののみ明日がくるんだよ」というものがあります。この言葉を胸に、是非最後まで走り抜けてください。

teacher's report

宮浦修造

中高一貫
12 期生
学年副部長

「みんながみんな Au（金）」これは中高一貫12期生の S1（中３）－３組の学級目標でした。文化祭、合唱コンクール、体育大会、アメリカ研修旅行など当時の皆さんの活躍ぶりをみていると、「きっとこの子たちは入試でもみんな金メダルをとってくれる」と感じました。本番の頑張りは日を見張るものがあり、逞しく思いました。

いよいよ受験期を迎える V2（高３）学年でコロナ禍になり、オンライン授業に切り替わりました。信じている反面、想定外の状況に本当に大丈夫だろうか。なんとかなると思ってまだ本気になっていないのではないか。など不安な気持ちも多々よぎりながらの、Zoom による授業、講座でした。周りがみえず不安になっている生徒も多かったと思います。

「自分を信じてやるっきゃないよ」V2学年の１年間で何度発した言葉でしょうか。

国公立の２次試験の受験を終えたあとの顔をみるとみんながみんな力を出し切った顔をしていました。入試はゴールではありません。新たに挑戦するためのスタートです。今後も戦い続ける君たちへのサポートを惜しみません。「なりたい自分」を目指し、社会に貢献する人材として成長し、人生の Au を勝ち取ってほしいと願っています。

京都大学
法学部

佐藤 尚美

感謝

まず初めに、受験を通してお世話になった方々に深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。今ここで合格体験記を書いていることをとても嬉しく思います。高校生活を振り返って思うことを書いていこうと思います。

高校1年の時は、次第に進路の話が出始める中、文章が好きだったので文系を志望しており、直感のようなもので法学部が気になっていました。秋頃に夢ナビという有志の大学が様々な種類の学問の模擬講義をするというイベントがあり、学校で参加しました。法学の講義は面白く、法学部というビジョンがより明確になったと思います。また同時に、恩師や大切にしている本の影響、友達から進路について相談されたことなどを契機に、将来は人のために何かをして、笑顔にさせることができる職業に就きたいと思うようになりました。恵まれた環境にいるのだから、自分の利益だけのために一生を使うのは勿体無いと思ったのもあります。その思いがより強くなったのは、高2の文化祭、高1、高3の体育祭のパネル作成、オックスフォード留学です。特に高2のクラスで企画をした文化祭は良い思い出です。このような須磨学園での経験を経て、困っている人を助けることができる人になる、という自分の指針を掴むことができたと思います。この目標は高3になり受験勉強に取り組む間非常に大きな支えになりました。

学習面については、須磨学園の先生方が提供してくださる授業、講座等にできる限り参加し、課題と復習をしていたということ以外ありません。予備校には行く必要を感じませんでした。振り返って良かったと思うことは、高2で苦手だった数学を好きになる努力をしたことです。自分はこの教科が嫌いだと思い込むと、能力があってもその教科の成績は伸びないと思います。最後まで不得意でしたが、具体的にはとりあえず講座の一環で自分の苦手な分野を勉強し、その中で楽しいと思えた瞬間はいつなのか考えていました。結論から言うと分からなかった問題を粘って解けた時の快感がモチベーションになったのですが、数学が少しずつ得意になるにつれ、数学の能力は文系だからこそ論理的な思考力という強みになり、例えば弁護士として活躍する中で生かされるのだろうと思って勉強していました。国語や英語においても、成績を上げるためというより、文章構成力や論旨を掴み的確に質問に答える力を養う練習だと思っていました。まずは自分の頭で考えるということは意識していたので、それが良かったのかもしれません。

最後に、須磨学園の6年間で得られたものは今の自分を形作るとても大きなものであり、受験を通して自分の成長が果たせたと思います。支えてくださった方々への感謝の思いは尽きることがありません。この恩を返すべく社会貢献を目標に一歩一歩進んでいきたいと思います。

京都大学
文学部 人文学科

石丸　灯

PMをもとに予習復習を徹底

この度、第一志望の大学に合格し、こうして合格体験記を書くことができているのは、ひとえに3年間学校生活を支えてくださった先生方、家族の存在があったからです。高校1年生の3学期ごろに、担任の先生との面談で京都大学に挑戦することを提案していただいて、受験を決意してからは冠講座なども受講し、京都大学に現役合格することだけを目指してきました。

こんなことを書くと怒られるかもしれませんが、正直私は、1、2年生の間は9時学にも1度くらいしか参加せず、いわゆる「学校を利用して勉強するタイプ」では全くありませんでした。その代わり、駅の近くにある図書館や学習スペースに毎日9時まで通い、その日のPMをこなして、予習、復習をしていました。なぜなら、知らない人に囲まれて勉強した方が集中できると思っていたし、少しでも帰宅時間を早くして睡眠時間を確保したかったからです。数学は苦手科目だったので、ほとんどの時間を数学と世界史などの暗記科目に費やしていました。反面、現代文と英語はわりと得意だったので、講座や添削以外に勉強時間は取らず、世界史と英単語、古文単語など暗記系は通学中にこなして数学に時間をさけるようにしていました。

3年生になってからは、コロナウイルスの流行で図書館が利用できなくなったので、学校での自習に切り替えました。それでも、ストレスもたまっていたこともあり、1、2年生の時から勉強時間を増やしたりはしませんでした。共通テストは初年度だったということもあり、暗記科目以外は学校での学習に任せ、二次対策に集中しました。

最後になりましたが、ここで私が伝えたいことは、無理に学校という場に固定して勉強しなくてもいいということです。リビングでも、自分の部屋でも、図書館でも、自習室でも、自分が集中して取り組める環境であればいいと思います。

本当にありがとうございました。

さて、私が考える自分が志望校に合格できた理由は三つあり、その根底にあるものは須磨学園という勉学の土壌のすばらしさであると思います。

一つ目は、日々の授業や定期テストに全力で取り組んだことです。本校の授業やテストは非常に実践的で、それに追いつくために必死で取り組むだけでどのような大学の入試にも通用する十分な力を得ることができます。特に、授業のノートやプリントは教科書や資料集よりも入試において役立つ場面が多々ありました。

二つ目は、豊富な講座の存在です。私は高校1年生の頃からクラスメイトに驚かれるくらい多くの講座を受けており、それが大きな力となりました。自分のレベルにあった問題が提供され、普段の授業の先生ではない先生の考え方も参考にできるという点が講座の良い点だと思います。直前に行われた講座で解いた問題と実際の入試問題が酷似しており、難問を完答できたという例もありました。

三つ目は、予習と復習です。ただ単に授業や講座を受けるだけではもちろん合格はつかめません。大事なことは、その日のうちの定着を試み、課された課題をやり遂げ、確認テストに合格するという日々の心がけとルーティンワークの継続です。それだけで想像をはるかに超えた力を得ることができました。特に確認テストで勝ち癖を付けることで受験本番での強い自信が手に入ります。

最後に重ねて、熱心に講座や授業を行い、学習や進路についての質問に細かく答えてくださった先生方。毎日お弁当を作り、自宅を勉強しやすい環境に整え、常に応援をしてくれた両親。わからない問題を教えあい、様々な行事を協力して乗り越え、時には息抜きに趣味の話で盛り上がった友だち。「皆が頑張っているのだから自分も頑張らないといけない、その気持ちに応えたい。」というような思いが私の原動力の一つとなりました。

皆さんにも恐らく辛く感じ、何もかも投げ出したくなる時が来るでしょう。でも皆さんは一人ではありません。壁は協力して乗り越えるためにあり、その先にはきっと輝かしい明日があるはずです。未来を想像して、日々の勉学に取り組んでください！

大阪大学
外国語学部 スペイン語専攻

安木みのり

習ったことを完璧に

今こうして第一志望校合格を勝ち取ることができ、最後まで私を支えてくださった先生方、共に頑張った仲間たち、側で見守ってくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私が須磨学園での受験勉強で大切にしていたことは二つあります。

一つ目は、繰り返し復習をすることで解いた問題は完璧にするということです。日々の授業や講座、添削指導で解いたことのある問題は完璧にできるように、私は1、2か月の期間を空けて、過去に解いた問題を二次試験までに全て2周ずつ解きなおしました。それでも完璧にできない問題については、教科ごとにまとめ、バスや電車、お風呂などの空き時間に復習しました。また、理科や数学などの問題集は、1周するたびに自力でできた問題の問題番号にお気に入りのシールを貼り、できなかった問題をあぶりだしました。完璧にできるようになり、全ての問題にシールを貼るまで何度も繰り返して解くようにしました。苦手だった理系科目も、シールでモチベーションを上げることでさぼらず勉強し続けることができました。また、二次試験直前には、夏に受けたオープンや実戦模試を解きなおすことで安心感が得られるのでおすすめです。

二つ目は、友達と高め合いながら勉強することです。3年生の前半期間は学校に行けず、モチベーションが保てずにダラダラしてしまうこともありました。それを防ぐために、クラスの仲良しの友達と毎日のようにZoom勉強会をしていました。1日の終わりに暗記科目のクイズを出し合い、自分が知らないことをすらすら答えている友達を見てより勉強意欲がわいたこともありました。対面授業に切り替わってからも、誘い合って難しそうな講座に参加したり、図書室で勉強したりしました。元旦に真っ暗な中登校し、友達と教室で初日の出を見たことも今では良い思い出です。一人ではできないようなことも、友達と一緒なら挑戦する勇気が出ました。また、日々の勉強の中で良い問題に出会ったときは、共有して互いを高め合ったことも効果的だったと感じています。友達と共に受験勉強に取り組むことは、モチベーションを高めることができるだけではなく、互いの学力向上にもつながると私は強く感じています。

最後になりましたが、須磨学園を最大限に活用することができる人はきっと大丈夫です。学校に入り浸るものでないと思います。自分は物理を極めてそれを拠り所としてめげずに受験戦争を最後まで戦い抜きました。高3になると嫌でも焦ってしまうので、何か一つ得意教科を作って少しでも自信をつけることはとても重要だと思います。でもだからといって苦手教科を全く勉強してないと後々、その教科が足を引っ張ります。自分は国語と社会が受験（共通テスト）直前までネックになり苦しみました。

二つ目は、部活動についてです。自分の所属していた部活動は月曜日～土曜日の放課後の雨の日以外で活動しており、自分は講座の時間は部活動を抜けてそれ以外は参加という感じでした。部活動のせいで成績が下がるかもしれないと不安になったこともありましたが、気力さえあればそんなことはなく、むしろ部活動のおかげで自信がつき成績を上げることにつながりました。

三つ目は、課題についてです。色々な行事や模試などでとても忙しい中、先生は凄まじい量の課題を出してくると思います。当たり前のことですが書いておきます。バカ真面目にやりましょう。「こんな量の課題、こんな短時間でできるかぁ！」と嘆きたくなるほどの大量の課題も出されると思います。それでも頑張ってやりましょう。その課題は絶対に受験に役立ちます。なぜならそれは自分達の弱点をよく知っている先生が出してくれる課題だからです。それらを全てこなすことができたら、第一志望合格に一気に近づくと思います。

色々書きましたが、受験は元気がある人が勝つと思います。なので、最後は元気についてです。元気がある時は問題ないけれど、元気がない時は何かと辛いと思います。そんな時は思いっ切り休んでください。元気がない状態は元の気がない状態でもありましたが、気力さえあればそんなことはなく、むしろ部活動のおかげで自信がつき成績を上げることにつながりました。

三つ目は、課題についてです。色々な行事や模試などでとても忙しい中、先生は凄まじい量の課題を出してくると思います。当たり前のことですが書いておきます。バカ真面目にやりましょう。「こんな量の課題、こんな短時間でできるかぁ！」と嘆きたくなるほどの大量の課題も出されると思います。それでも頑張ってやりましょう。その課題は絶対に受験に役立ちます。なぜならそれは自分達の弱点をよく知っている先生が出してくれる課題だからです。それらを全てこなすことができたら、第一志望合格に一気に近づくと思います。

色々書きましたが、受験は元気がある人が勝つと思います。なので、最後は元気についてです。元気がある時は問題ないけれど、元気がない時は何かと辛いと思います。そんな時は思いっ切り休んでください。元気がない状態は元の気がない状態で

大阪大学
工学部 応用自然科学科

宮嶋 大晟

やるならとことん、それが一番気持ちいい

この合格体験記では受験を終えるまでで、個人的に大事だと感じたことをいくつか書こうと思います。

一つ目は、勉強についてです。自分は理科と数学が得意で英語は普通、国語と社会がとても嫌いでした。そんなわけで高1から高2に進級する際はためらいなく理系を選択しました。高2では得意を極める、高3では苦手をマシにすることを意識しました。高2の頃に得意を極めることによって高3になった時、勉強に対して自信を持つことができます。

大阪大学
理学部 生物科学科

青池 優希

受験とは決して孤独な闘いではない

まず、今ここで合格体験記を書いている現状は、様々なことを教えてくださった先生方や支えてくださった両親、共に学び、応援しあった友だちのおかげで成り立つものです。

進路指導部長

千田正英

2021年度入試は、コロナ下であると同時に、共通テストの初年度でもあり、当事者に様々な負担と工夫が求められるものであった。その中で、VK学年ともに生徒と教員が一体となって、よく頑張り抜いたと思う。

私も講座を担当していたが、病欠以外の欠席はほぼ皆無であったし、7年間続けていた英文解釈の毎日課題も、提出率は過去最高であった。

客観的な数字を見ても、東大が過去最高の7名、東大＋京大が昨年と過去最高タイの32名。また、難関国公立＋医学部医学科の卒業生全体に占める割合は、Vで過去最高、Kで2位であり、難関国公立の数は3年連続100名を超えた。

こうした結果の背景には、もちろん個々の生徒の弛みない努力があったが、同時に、伴走者としての先生方の熱意と「必ず通す」という固い信念があったのは間違いない。

す。元の気は気合では復活しません。しんどい時は無理せず休みましょう。どんな時でも元気が一番です。このことを心にとめて自分の目標にむけて頑張ってください。

神戸大学
医学部 医学科

池田 航大

基本が大事

合格体験記を書かせていただけることをとても嬉しく思います。熱心に進路指導してくださった小泉先生、面接練習をしてくださった田村先生、わかりやすい授業を展開してくださった先生方、本当にありがとうございました。

私はテニス部に所属しており、高校1、2年生の間は部活動が学校生活のメインとなっていて、勉強は定期考査直前だけだったので基礎がなっていませんでした。なので3年生になってからはとりあえず基礎を固めました。受験勉強のスタートが遅い人にとって最も重要なことは「基礎をおろそかにしないこと」だと思います。基礎を固めるだけでは最初は結果が出ないかもしれません。私も夏の模試まではE判定かD判定しか取ったことがありませんでした。しかし、後々成績は上がってくるので焦る必要はないと思います。

人それぞれですが、私は夏休みくらいから発展的な問題集に取り組み始めました。英語に関しては長文を1日1題は解くようにし、数学は難問に時間をかけて取り組みました。12月からは共通テスト対策に切り替え、センター試験の過去問と予想問題を大量に解き、共通テストが終わってからは第一志望の大学の過去問を10年分解きました。

ここまで私の3年間を振り返りましたが、受験勉強で大事だと思ったことを二つ挙げます。一つ目は自分に合う学習環境を見つけることです。私の友人は学校、家、自習室など勉強が捗る場所は様々でした。ぜひ自分が最も集中できる場所で勉強に励んでください。

二つ目はメンタルです。私は勉強が思うように行かず、蹲いてしまうことが多々ありました。私のような失敗を皆さんにして欲しくないので打ち明けますが、共通テストが思うように行かず、やけくそになって共通テスト直後一週間くらい一日中ゲームをしたりしていました。今自分にできることだけを考えて勉強に取り組むことが大切だと思います。

新入試やコロナなどがあり、戸惑いや不安もあるとは思いますが、届することなく自分を信じて頑張ってください。心から応援しています。

神戸大学
経営学部 経営学科

仲井 美由

PMTMで努力を継続

こうして合格体験記を書かせて頂けますこと、非常に光栄です。これから受験を迎える皆さんの一助になればと思い、出来るだけ率直に書かせて頂いております。その点を留意して頂いたうえで、今回私が大学入試を須磨学園で乗り切るために重きを置いたポイントを幾つか紹介させて頂きます。殊に部活もされている方に役立てられれば幸いです。

まず一つ私が大切にしたのはやり通すことです。Ⅲ類として入学したものの模試の成績が下から数えられる学力でスタートした私ですが、所属したダンス部での活動を3年間続けながら勉学に努めました。結果から言うと本当に過酷でした。同じ境遇の人がいると分かっていても、勉強で周りに追いつけているのかという焦燥感から、辞めたいと何度も折れそうになりました。それでも部活を続けながら9時学や休日自学に継続して参加し、勉強に対して常に緊迫感を持って向き合ったことが却って功を奏したのだと思います。事実、私は平日家にいた8時間は休息に費やしほとんど勉強していませんが、部活に追われるのに比例して成績を上げていました（火事場の馬鹿力かもしれません）。「継続は力なり」と言いますが、そこには相当の覚悟と努力が必要です。それでも、やり遂げた先にはきっと素晴らしい景色が広がっていることでしょう。

次に私がお伝えしたいことは、セルフマネジメントと行動することの重要性です。前述のように勉強に励むえで私は意識した点があります。それは目標の細分化です。まずは、大きな目標を設定します。私の場合は将来についての目標を立てました。そこから「進学をどうするべきか」「そのために高校で何をすべきか」というふうに逆算しつつタスクを細分化し、明確化するツールとしてPMTMを用いました。ここで大切なのはただPMTMを使うことではなく、PMTMを用いることによって自分がどうしたいかを明らかにすることです。私にとってPMTMは高校生活におけるセルフマネジメントに適していたため3年間常に使い続け、計画的に目標を達成できました。また行動することというのは、私にとっては積極的に色々な先生の元へ質問や添削のお願いに行ったことです。自分で考えることも大切ですが、何時間も悩んで結局勉強へのやる気を無くすより、その道のエキスパートに解決の糸口を与えて頂く方が何倍もいいと私は考えています。須磨学園は経験を積んで熟練した先生方ばかりですし、学習環境が整い、分かりやすい指導が受けられる貴重な学びの場です。自分から添削をお願いしても必ず快く受け入れて頂けますし、学びのアドバイスもして頂けます。特に私は英作文や世界史、数学でお世話になりました。先生にお願いするのは気が引けると思う方もいるかもしれませんが、一度勇気を出してみてください。私はこれを皆さんに強くお勧めします。まず動いてみることが本当に大切です！

最後になりましたが、共に高め合う仲間を大切にして下さい。ただ仲が良いだけではなくて、互いに切磋琢磨し合えるライバルでもある仲間と共に3年間頑張ってこられたからこそ今があると私は思っています。団体戦であり自分との戦いでもある入試を皆さんが悔いなく笑顔で終えられますことを心よりお祈りしております。

teacher's report

中高一貫
12期生
学年副部長

田村 忠

卒業にあたって、君達には「楽しむ者には及ばない」という孔子の言葉を贈りました。人が一番楽しいと思うときはどんなときでしょう？私が一番心から楽しいと思うときは、一生懸命頑張る人を応援しているときです。君達が合格を勝ち取るため一生懸命頑張っていたから、私も一生懸命に頑張れた。それはしんどいけれど楽しく充実した日々でした。ありがとう。

今卒業した君達は、新たな場所で自分の将来像について模索していることでしょう。大学では様々な体験を通して、自分が何をしているときに心から楽しいと感じるのか知りましょう。それが、自分のやりがいや生きがいのある仕事につながることでしょう。そして、様々な人と交流することで、様々な人の心を想像する力をつけていきましょう。若い君達には、様々な体験を通じて自分のことを知り、人の心を思いやる想像力を養い、社会で活躍されることを願っています。

北海道大学
医学部 医学科

吉田 優太

友の力

私は数学と物理が苦手でした。しかし医学部に合格することができました。私の拙文が皆さんのお役に立てば幸いです。

受験勉強は暗記です。覚えられるまで授業の復習をし、一冊の問題集を繰り返し解いた人が合格できます。英語は私の大きな武器でした。高1、高2の間に一冊の単語帳を行き帰りの電車で必ず読み、あだ名が「単語帳」、「鉄壁スト」になるくらいやりこんだからだと思います。古典や地理も授業で配られたプリントを何度も見直し、共通テストで納得のいく点が取れました。

受験勉強は暗記です。思考力、発想力を問う理数科目も暗記した解法を組み合わせて解くのでやはり暗記と言えます。しかし、理数科目においてはただ解法を暗記するだけでは不十分です。高1の頃、数学担当の先生に「FG（解法を網羅するタイプの問題集）の例題をひたすらやれ。」と言われたので、1年で3、4周やりました。確かに高1の秋以降模試の数学では満足な点が取れましたが、高2になって数Ⅲが始まり、また物理化学の進度が速くなると、手が回らなくなり伸び悩みました。そんな時、私の恩人であるT君に出会いました。T君は理数が抜群にでき、特に数学は大学内容まで独学するほど好きだったようです。T君は私の初歩的な質問にも丁寧に答えてくれました。その中で、私は理数が得意な人はそもそも問題に対する見方、考え方が違うのだと気づきました。「理数が得意な人の見方、考え方が身に付けば今までただ暗記していただけの解法の中に何か違ったものが見えてくるのかもしれない……。」その後、私はT君や他の理数が得意な友達に質問する時、解法だけでなくその人の見方、考え方も何とか身に付けようとしました。すると理数が伸びてきました。

受験勉強は暗記です。しかしかつての私のようにただ解法を暗記するだけでは伸びません。大切なのは、自分の苦手科目が得意な人と友達になり、その人が無意識にやっている見方や考え方を身に付けようとすることです。またその友達の苦手科目であるならば、互いに教え合えて成長し合える、受験勉強において最高の友達同士になれるでしょう。皆さんも友の力で第一志望合格をつかみ取って下さい。北の大地から応援しています。

teacher's report

高等学校
共学 20 期生
学年副部長

雫本 真之

合格体験記にこのように言葉を寄せる機会を頂き、晴れがましい気持ちで一杯です。

ここに寄稿している皆さんに（僅かながら）「関わったことがあるんですよ」と自慢できることは教員冥利に尽きます。今回ここに寄稿していない人の中にも、まだまだこれから様々な活躍をする人がいて、その活躍の報に接する度、大いに誇りを感じることでしょう。

そんな卒業生諸君の中には私とやや濃密な時間を過ごした人もいます。推薦入試の準備を通じて将来やりたいことについて真剣に考えたり、小論文の練習をしたりと。

研修旅行の訪問先で刺激を受けてくれて、将来の進路を明確にした人もいました。（あの訪問先、私がセッティングしたんですよ）そして、ここの体験記の執筆者には、訪問先の企業で大人が舌を巻くような質問をしていた人もいます。内心これは「教える」などと威張っていられないぞと自戒したものです。

真に勉強のできる皆さんと相対するとき、その授業はこちらが物を教えるという次元を超えて、お互いに同じ学びの世界を切り拓いていく感覚になるものです。そんな出会いにこれからも恵まれますように。

徳島大学
医学部 医学科

岡野 夏奈

やるしかない！

こうして合格体験記を書ける事を喜ばしく思うとともに、最後の最後まで私の学校生活を支えてくださった先生方、両親、友達に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

勉強の取り組み方は人それぞれで、自分のスタイルを見つけるまでは苦しい時期が続くと思いますが、私の方法が少しでも参考になれば幸いです。

私は高校硬式テニス部に所属し、キャプテンを務めていました。高3の6月まで部活をつづける予定が、コロナの影響で試合が無くなり断念せざるをえませんでした。高2の時は部活を中心に生活していたので、必要最低限の講座だけを取っていました。週末も部活の疲れに負けて、思ったように復習できず、わからないものをそのままにしてしまう事も少なくなかったと思います。

いよいよ高3になるぞという時コロナウイルスが蔓延し始め、前代未聞の長さの休校期間そしてオンライン授業へと突入していく事になります。この時大変役に立ったのがPM・TMシート、そして今までの授業や講座で配られてきたプリント達でした。1・2年生の時に学習した内容が本当の意味で理解できていない事に焦りを覚えた私は、今までのノートや演習プリントを通して基礎を徹底的に復習する事に時間を費やしました。私は効率よく勉強できるタイプではなく、習得するのにも時間がかかります。その上医学部を目指すには必須の理数科目が得意ではありませんでした。しかし、どの単元をどれくらいやるのか、いつやるのかといった毎日のルーティンを決めPM・TMシートに落とし、全部やり切ろうという事をモチベーションにして学校にいけない時期を乗り切ったおかげで自信がつくようになりました。夏から秋にかけて少しずつ成績が伸び、できる事が増えて勉強を楽しくする事ができましたが、冬を迎える前の10月、11月に伸びが停滞してしまい自分のやっている事は合っているのだろうかと毎日のように思い悩みました。その時、宮浦先生の「やらなかったら成績は落ちていくだけ、維持してるだけでも凄い。伸びる事を信じてやるしかない。」という言葉を受けて悩んでても仕方がない、ここまできたらもうやるしかないという発想の切り替えができました。そうするとまた少しずつ成績が伸び始め、最終的には医学部で戦えるレベルにまでもっていく事ができました。

最後にこの文章を通じて後輩の方々に伝えたいのは、基礎をおろそかにしない事、要領が悪いタイプだと思っているのなら人一倍勉強する事、そして悩んで手が止まるよりは「やるしかない！」と言い聞かせてネガティブな事を考えずアクティブになるという事です。拙い文章ですが、お役に立てればと思います。心から応援しています。